



憲法と政治思想からアメリカを考える 『アメリカ革命』（中公新書）、 『眠れる主権者』（勁草書房）合評会

日時:

2025年7月17日（木）

14:00-16:00

同志社大学烏丸キャンパス 志高館
SK110

対面開催

※どなたでもご参加
いただけます。

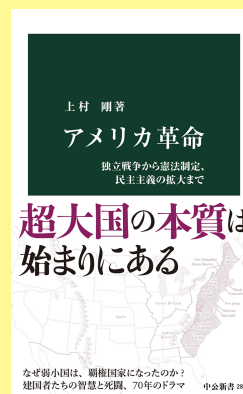
登壇者:

上村 剛(関西学院大学)

春山 習(日本大学)

川鍋 健(同志社大学)

アメリカ研究所・司会)



上村剛『アメリカ革命:独立戦争から憲法制定、民主主義の拡大まで』、中央公論新社、2024年



リチャード・タック(小島慎司、春山習、山本龍彦監訳、川鍋健、松本有平訳)『眠れる主権者:もう一つの民主主義思想史』、勁草書房、2025年

企画趣旨:

第2次トランプ政権の始まりとともに、アメリカ政治のダイナミックな動きがアメリカ国内だけでなく世界にも影響を及ぼしている。そしてその動きの背景の一つには、活発なアメリカの民主主義がある。大統領選で勝利した政権がリベラルな諸政策への敵視、憲法からの逸脱と権力濫用にはしっているかにみえる一方で、まさに同じ民主主義がかつては合衆国憲法制定など個人の自由を実現する政治を支えてきたのではなかったか。

この問いをめぐって、アメリカにおける憲法制定の歴史的な意義と、憲法への民主主義の歴史的関わり合いを論じた政治思想史研究の書籍2冊が公刊された。今回のイベントはその著者、訳者によるインタラクティブな書評と、会場オーディエンスとの議論を通じて、アメリカの民主主義の背後にある歴史、思想や論理、そのことを踏まえて現状をどう見るべきか、そしてこれからのアメリカの民主主義への展望を考える機会としたい。(共催:同志社大学アメリカ研究所部門研究2；科研費JP22K13284「裁判官選挙制及び国民審査制の日米比較:人民主権の憲法思想の制度的側面」(研究代表者川鍋健))

同日開催: 同志社大学アメリカ研究所2025年度春季公開講演会『アメリカ革命を考える』
16:40~18:10 同志社大学烏丸キャンパス志高館SK110 講演者: 上村 剛(関西学院大学)

